

分科会活動のご紹介

- 分科会活動は、SDGsの普及・実践に向けてフォーラム会員が主体となって取り組む事業です。
- 今年度は7つの分科会が発足し、フォーラム事務局と連携しながら各種活動を展開しています。
- フォーラム会員の皆様、ご関心ございましたら是非新たな交流につなげていただければ幸いです。

No.	分科会名 (No.は申請順)	主な活動エリア
1	マスコミOBネット	福岡県、佐賀県
2	九州の地域課題解決から暮らし向上 ～ソーシャルビジネス/SDGs・休眠預金事業で事業創造～ 九州休眠預金実践経営戦略会議	九州全域
3	SDGsバンブープロジェクト推進フォーラム	福岡県、および、近隣県
4	アートで考えるSDGsプロジェクト	福岡県、佐賀県、東京都、京都府
5	つくる責任、つかう責任の実践！九州GPN	九州全域、沖縄県
6	TEAM EXPO2025 in 九州	福岡県、大阪府
7	九州防災災害支援コンソーシアム	佐賀県、福岡県、長崎県、大分県、 熊本県、宮崎県、鹿児島県

マスコミOBネット

目的

マスコミでの経験を活かし、自治体や企業団体、大学、金融機関、市民講座などの講演会活動を通じて、SDGsの意義などを周知して普及活動を行う。

また、求めに応じて活動しているSDGsの団体を紹介したりアドバイスしたりする。

活動計画

企業や自治体等の講演会を開催予定。

メッセージ

メンバー全員が、創設20年を迎えた福岡マスコミOBネットの会員としても活動中。新聞社やテレビ局で勤務した約50人の会員は、政治や経済、健康・福祉、地球温暖化、教養・文化などの専門家です。

テーマに即した講演者や司会者を探しているなら、ぜひ相談ください。手頃な料金での対応が可能です。

所属 マスコミOBネット **担当者** 柿元 薫

電話 090-4054-2152

MAIL kakimoto.kaoru@gmail.com

URL <http://www.f-mon.net/>

所在地 810-0022 福岡市中央区薬院1-15-13-401

メンバー 柿元 薫 (久留米大学比較文化研究所の特別研究員、元時事通信記者)

中川 茂 (大学・短大の非常勤講師、元西日本新聞社論説委員長)

森 美奈子 (九州産業大学・筑紫女学園大学非常勤講師、元RKB毎日放送アナウンサー、元NHK福岡放送局キャスター)

設立趣旨

『福岡マスコミOBネット』は新聞・放送等のマスコミを退職し出身企業の垣根を越えて集う人材集団です。ジャーナリストとしての経験と知恵、人脈を地域社会に活用していただきます。

難しいことを難しいことばで話すのは簡単です。難しいことを判りやすく、しかも面白く伝えるのは楽ではありません。しかし、その難しいことをやれるメンバーが集いました。数々の体験、修羅場を経験した者だけが持つ説得力。マスコミOBネットの何よりのパワーです。

活動内容

地域、学校、自治体、企業を対象に「出前講座」をいたします。テーマに応じてその道に詳しい会員や専門家を講師として派遣しマスコミOBならではの視点で学習や人材育成などの支援と助言をします。

1) 地域支援 公民館・サークル活動のアドバイス

新聞・放送で報道されるニュースの解説やその裏話のほか、シニアの健康、子供の教育、町おこしなどの各世代にとっていちばんの関心の高い問題について、共に考え、アドバイスします。

2) 学校教育支援 メディアへの関心に応え、読み解く力を指導

小中学校の総合学習や社会科など、児童生徒の授業・学習を支援します。大学や短大、専門学校に対しては、より広い視野でのメディアについて考えます。学校新聞・番組づくりビデオ撮影、アナウンスの指導をします。

3) 自治体・企業の人材育成支援 マスコミ対応、知識の習得をサポート

情報を伝える側と受け手の立場から、マスコミを上手に活用する広報対策についてアドバイスします。特に、いま関心の高い政治・経済・社会問題については、地域や学校とは違った視点で解説します。

4) 特別活動 シンポジウムなどの企画・運営も

社会的な関心を集めている“旬の話題”をテーマに、専門家を招いての講演会やシンポジウムを開催します。文化や教養の向上に寄与するため、特別講座や現地見学会の開催を企画運営します。

3

すべての人に健康と福祉を



5

ジェンダー平等を



8

働きがいも経済成長も



10

人や国の不平等をなくそう



17

パートナーシップで目標を達成しよう



九州の地域課題解決から暮らし向上 ～ソーシャルビジネス/SDGs・休眠預金事業で事業創造～ 九州休眠預金実践経営戦略会議

目的

民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律（休眠預金等活用法）に基づき、金融機関の口座で10年以上出し入れが確認できない休眠預金を、民間公益活動の促進のために活用する制度が2019年度から始まりまし。弊社は地域課題解決のため公募申請し「資金分配団体」に採択され、地域の団体と協働して活動しています。

本分科会は、休眠預金事業を活用して地域課題解決に取り組みたい方、地域課題を抽出する方との意見交換・情報共有により、九州で資金分配団体を増やしてまいります。ぜひご参加ください。

活動計画

九州休眠預金実践経営戦略会議の開催（毎月1回・第2火曜日オンライン開催）
⇒休眠預金制度紹介、実践団体による活用事例紹介、地域課題抽出方法、申請書の作り方、事業計画の立て方、九州の課題解決ワークショップなど

メッセージ

分科会の活動を通じて休眠預金事業の担い手を増やし、その活動により九州の暮らしや社会をより良いものにしていきます。

休眠預金事業に興味関心がある方、ソーシャルビジネスやSDGsに取り組みされている方・興味関心がある方、ぜひご参加ください。

所属 一般社団法人SINKa

担当者 藤田豪太郎

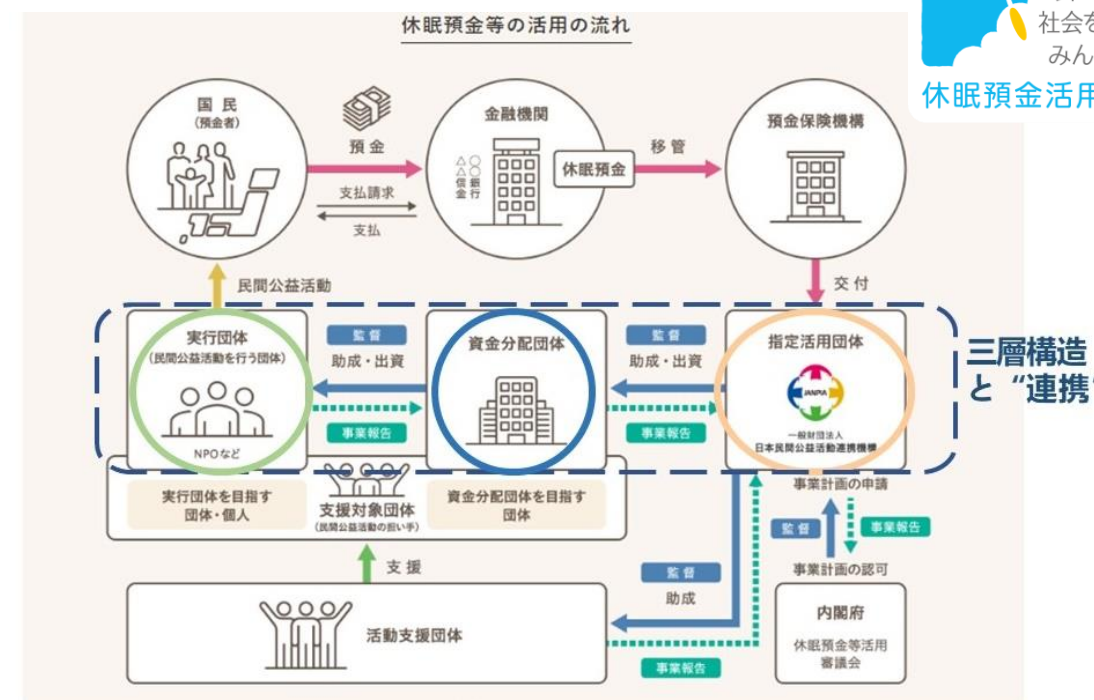
電話 092-762-3789

MAIL info@sinkweb.net

URL <https://www.sinkweb.net/index.html>

所在地 810-0073 福岡市中央区舞鶴1-3-14

メンバー 一般社団法人SINKa及びそのネットワーク
(九州SDGs行動・事業・経営ネットワーク)
(九州で休眠預金を民間公益活動事業促進に有効利活用する人のネットワーク)



SINKaとは、	
代表理事	濱砂 清 Change!感動する人・共感ビジネスでよのなかをよりよく変える！ 人々が集い感動できる豊かな地域社会を子ども達につぎたい！
事業目的	九州の社会起業家や社会起業家創出を支援するためのネットワークで、社会起業家になりたい、社会起業家を応援したい、社会的企業を経営したいという人々の集まりとして2006年4月に任意団体として設立。2010年5月より一般社団法人SINKaとして活動開始。H22年6月より九州経済産業局「九州ソーシャルビジネス促進協議会SoFi」の福岡での事務局を運営。 社会的起業家 (人・チェンジメーカー) 社会的事業 (事業・ソーシャルビジネス) 社会的企業 (組織・ソーシャルセクター)
事業内容	2006年4月福岡を拠点に九州・全国での社会起業家創出支援ネットワーク設立を母体として、NPO等活動団体支援、人材育成・教育事業、企業の社会貢献・CSV・SB事業、事業型NPO育成事業、各種セミナーやフォーラム開催等の事業を通じて、人・事業・組織を創り出し、社会を豊かにする取り組みを展開。毎月第1火曜日に個別相談、第2火曜日にSB研究会実施中。公設民営センター(1施設)の運営を担い、県内外団体の奔走支援。東峰村での地方創生、中山間地域再生支援。
休眠預金関連事業	九州休眠預金実践経営戦略会議 毎月第2火曜日開催中。 九州全域に資金分配団体を創出し必要な方に支援が届くよう活動中。



SDGsバンブープロジェクト推進フォーラム

目的

- ◆環境・社会・経済の好循環モデル（SDGs貢献型事業）の構築と普及
 - ◆SDGs 貢献への定量・定性評価
- 日本の里山では、外来種のモウソウチクが在来植物の生息域を侵食し、生物多様性が損なわれています。また、根の浅いモウソウチク林が土砂崩れを引き起こす一因です。竹炭という製造品を軸に、竹やぶ管理(外来種駆除)の小さなモデルづくり(経済/社会の循環/共生)を目指します。竹伐採後の多様な生き物復活・土砂崩れ対策効果など定量評価の難しいものはどのような定性評価できるか関係者と共に考えます。

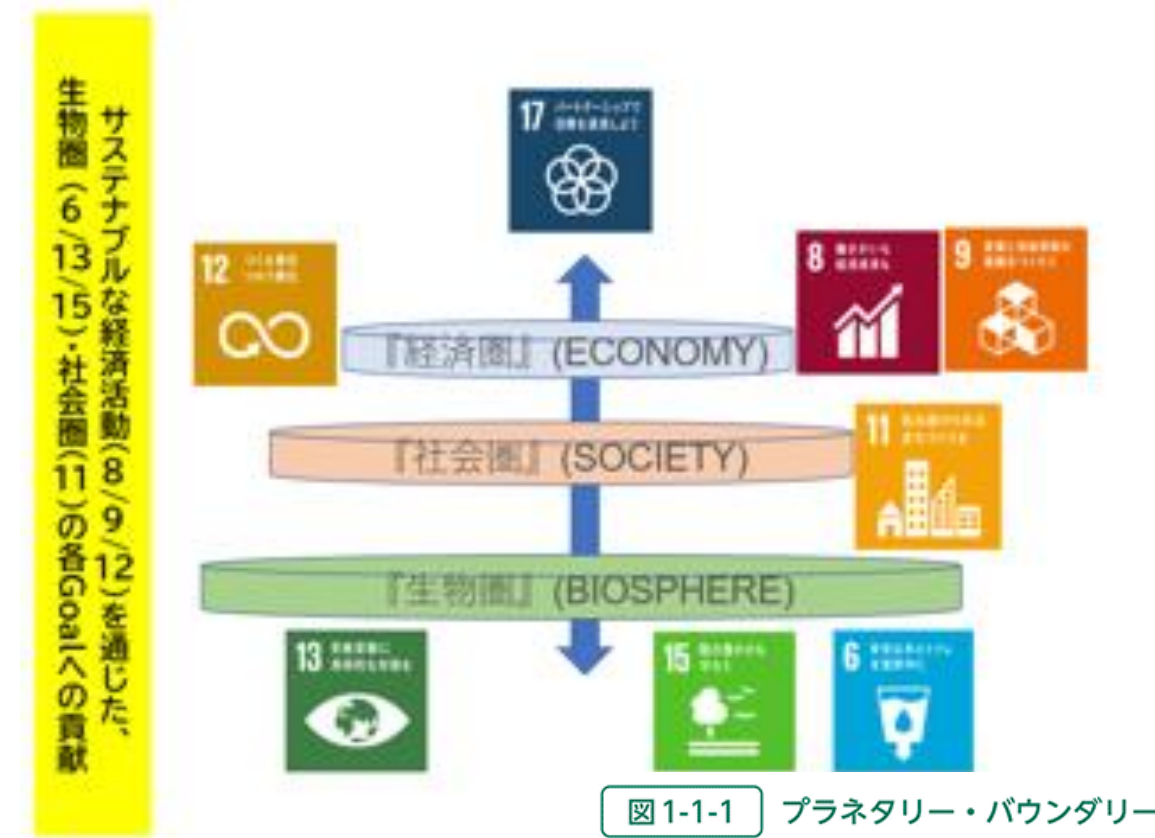
活動計画

- 【A】企業のレクリエーションとしてモウソウチク駆除「枯れ竹拾いイベント」
- 【B】枯れ竹を、地域農業関連団体や障害者施設に譲渡し、竹炭製造委託（=CO2固定量の定量評価）
- 【C】竹炭譲渡先（農業関連団体、障害者施設）は、竹炭を土壌改良剤として使用（=化学肥料・農薬のコスト削減、土壌への窒素・リン負荷の低減）
- 【D】竹炭利用の農作物を「竹害対策事業・購入型クラウドファンディング」へ協賛頂いた企業(の社員)への返礼品として地方と都市部の経済循環を促進

メッセージ

高度経済成長期に発生した「公害」は、多様な主体のパートナーシップにより解決できました。これに倣い、里山地域における「竹害」を持続可能な開発モデルを通じ、社会全体で・主体的に解決することを目指します。

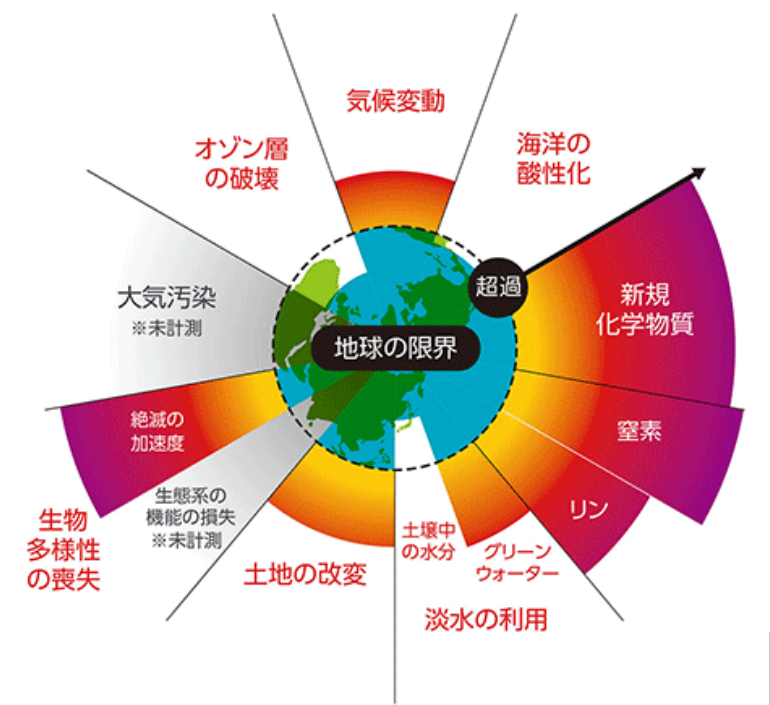
所属	株式会社B2S	担当者	山村 公人
電話	070-5415-2935		
MAIL	eco.yamamura@gmail.com		
URL	https://sdgsbamboo.com/		
所在地	839-0863 福岡県久留米市国分町		
メンバー	株式会社B2S 有限会社 道の駅たちばな 糸島コミュニティビジネス研究会 株式会社豆吉郎 温室効果ガス削減推進市民ネットワーク 株式会社ウェルネット（第二種社会福祉事業） Ich-Roman（イッヒロマン）	山村 公人（代表取締役） 古庄 修（取締役） 日高 栄治（主宰） 石田 亮輔（代表取締役） 深澤 義則（代表） 上田 浩司（代表取締役） 鶴田 茉麻（代表）	



【プラネタリーバウンダリー】

種の絶滅の速度と窒素・リンの循環に加え、新たに気候変動と土地利用変化、新規化学物質が不確実性の領域を超えて高リスクの領域にあるとされました。

（令和5年版 環境・循環型社会・生物多様性白書より）



資料：Stockholm Resilience Centre (2022) より環境省作成



アートで考えるSDGsプロジェクト

目的

アートを通じたSDGsの取組は今年度で5年目を迎えます。アートと社会的課題を繋ぐ活動から始まり国内の「環境問題」(画材、紙資源)から、クリエイターを目指す障がい者たちの活躍を応援、2022年にはリアルイベントで、女性活躍へのエンパワーメントに注力し、一方では「カーボンニュートラル」をテーマにライフスタイルチェンジを絵本で啓蒙に取り組みました。2024年は3つの目的で活動致します。継続活動の「カーボンニュートラル」の活動を継続。「日本の伝統文化・技術の伝承」を国内の女性伝統工芸士たちと一緒に活動、また、国内の女性アーティストたちの育成活動として「社会課題と繋がるアート展」と、3つのサステナビリティを目指します。

活動計画

今年度は3つの活動計画が実際に進んでおります。

1. アートが持つ表現力でカーボンニュートラル環境問題に注力し7月～8月以降にはペーパーレスとして電子書籍化し啓蒙活動することと、機会があればイベント参加へ。
2. 女性アーティストたちの育成企画として「アート合宿」を5月末に予定。
3. 弊社のアート事業全般をクリエイターを目指す若手障がい者と共に制作事業を行う。

メッセージ

この5年間考え続けてきた「アートとSDGs」。現在は若い障がい者たちが弊社のアート事業をしっかりと支えてくれて、社会的課題をよりリアルに感じております。また、日本の文化や伝統工芸など「伝承」について触れ、今年度も伝統工芸については継続応援を行ないます。また、国内のアート産業の低迷下に微力ながらも支えるためのアーティストのための合宿などもアートとSDGsの啓蒙に注力致します。

所属	株式会社シーノ・オフィス	担当者	白神 しのぶ
電話	092-986-0922		
MAIL	info@cno-office.com		
URL	https://www.career-2020.com/tenohiramuseum-sdgs		
所在地	810-0041 福岡市中央区大名2丁目1-20 ARKビル602		
メンバー	白神しのぶ、四宮純子、尾木菖佳、鯉川菜々、高城さと、岡松裕子、後藤薫、齊木かおり		

アートで考えるSDGsプロジェクト Think about SDGs in Art

「わたしたちにできるカーボンニュートラル」ハロープロジェクトの幕張メッセイベントでの様子

2023年公開済み



自社制作のアイドル、ハロークリーンたちのエコ活動

2024年公開済み



自社制作のアイドル、ハロークリーンたちの工場見学協力：エコウッド株式会社 西日本ペットボトルリサイクル株式会社

「知ってほしいオンナたち in 国際女性デー2024 3月8日実施済み」



活躍女性たちが一同に会した国際女性デーイベント



女性たちと朝のパワーモーニングイベント



クリエイターを目指す若手障がい者たちとの編集デザイン制作 2024年女性向け手帳の制作。



つくる責任、つかう責任の実践！九州GPN

目的

九州グリーン購入ネットワークは、「グリーン購入」の普及を通じて、福岡・九州地域のものづくりや人々の暮らしがより環境に配慮されたものになるよう働きかけていきます。

本分科会は、グリーン購入の新しい分野の開拓や、取り組みの向上、拡大等を目的とする、研修会、学習会等を開催し、SDGs「12 つくる責任、つかう責任」に関係する会員に参加してもらい、実践していきます。

活動計画

九州GPN SDGs推進部会の開催 (年2回)
⇒SDGs活用によるグリーン購入実践事例の発表。事業化、継続させるためのブラッシュアップ研修。グリーン購入の普及啓発、会員ネットワークの拡大。

メッセージ

分科会の活動を通じて、グリーン購入の実践活動を拡大し、九州地域から「市場」と「暮らし」の社会システムをより良く変えていくことを目的に活動しています。是非気軽にセミナーへご参加ください。

所属	九州グリーン購入ネットワーク事務局 (一般社団法人SINKa)	担当者	中嶋 隆登
電話	092-762-3789		
MAIL	info@kyushugpn.jp		
URL	https://kyushugpn.jp/		
所在地	810-0073 福岡市中央区舞鶴1-3-14 小榎ビル3F		
メンバー	九州グリーン購入ネットワーク会員 (行政12団体、民間12団体、企業49社)		

「グリーン購入の普及促進に向け認知度80%を目指そう！」
つくる責任、つかう責任の実践！九州GPN
「第1回ステップアップセミナー」



『グリーン購入ネットワークの歴史と意義と役割』 『音楽×気候変動』 『脱炭素社会に向けた産官学連携の推進』

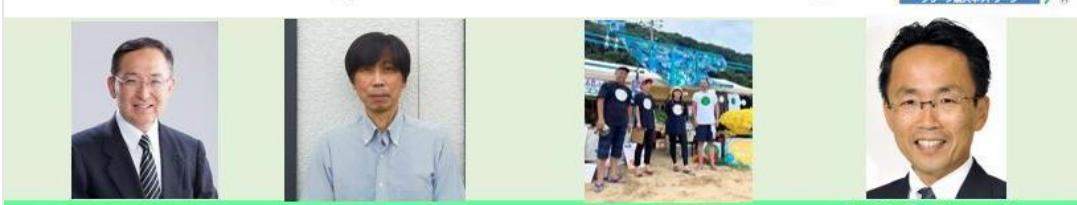
末竹 哲 氏 小出 愛菜 氏 永長久寛 氏

「食と水から循環型社会の実現」
つくる責任、つかう責任の実践！九州GPN
「第3回ステップアップセミナー」



田中 利和 氏 株式会社 田中商店 代表取締役
平野 彩 氏 株式会社Seaside Consulting 代表取締役
應和春香 氏 株式会社村ネットワーク 代表取締役社長

「サーキュラーエコノミー (循環経済) の推進」
つくる責任、つかう責任の実践！九州GPN
「第2回ステップアップセミナー」



西日本ペットボトルリサイクル(株)代表取締役社長 千々木 亨 氏
公益財団法人ふくおか環境財団 総務部経営企画課長 足立 泰尚 氏
一般社団法人イドベタ みついまゆみ 氏
しばた みなみ 氏
陸前高田しみんエネルギー株式会社 代表取締役 小出 浩平 氏

TEAM EXPO2025 in 九州

目的

わが国が世界に誇るSDGs共創プロジェクトである大阪・関西万博(EXPO2025)を九州から盛り上げるための勉強会および共創ワークショップの実施を行い、本分科会で検討した事業アイデアを2025年に万博で実現することを目的とする。

特に本年度は、UR都市機構さまが所有する「URBANG TABLE」を運営するProject Mariageが分科会メンバーに加入し、「URBANG TABLE」から生まれたプロジェクトをTEAM EXPO2025に向けた共創チャレンジとして登録・実施していく。

活動計画

- Tenjin Table Session+（共創ワークショップ）にて、TEAM EXPO2025に向けたプロジェクト検討を行う。（年3回）
- 九州の企業・団体向けにEXPO2025の周知にかかるイベントの実施。（年2回程度を予定）

メッセージ

九州・福岡から、企業やNPO団体などがEXPO2025の共創チャレンジに参加し、日本全体での万博の盛り上がりと成功に貢献すること、これらの活動を通じてSDGsへ貢献することを目標に活動してまいります。本年度は、UR都市機構さまが所有する「URBANG TABLE」から生まれたプロジェクトをTEAM EXPO2025に向けて実施していく。

所属	株式会社YOUI	担当者	原口 唯
電話	070-5535-5345		
MAIL	info@youi.works		
URL	https://youi.works/		
所在地	810-0042	福岡市中央区赤坂1-9-1-501	
メンバー	株式会社YOUI、一般財団法人ウェルネスサポートLab、株式会社TAP		



TEAM EXPO 2025 in KYUSHU



博多大丸さま、久留米絊共同組合さまとの共創ワークショップの様子

九州防災災害支援コンソーシアム

目的

本会は、地震、津波や風水害等による激甚災害において、災害支援に関する社会的役割を十分に理解し、被災地における災害支援活動や気候変動にともなう防災・減災について会員相互の情報交換を行い、議論を深め、学術研究の発展に寄与することを目的としています。

活動計画

企業と団体のマッチング交流会として、「SDGs×防災減災 ネットワーキング」を月1回ペースで実施。これまで、のべ41社が参加し、3つの分科会が立ち上がった。

防災、減災の情報の共有化の促進及び普及、防災減災のあり方を議論し、国際目標の実現に貢献する。

メッセージ

自然災害と気候変動は密接に関連しており、「防災、減災」の視点から、災害対策に取り組める組織として、「九州防災災害支援コンソーシアム」を発足しました。防災・災害支援の取り組みに関心がある方はもちろん、企業のCSRに携わる方の参加もお待ちしております。

所属 公益財団法人佐賀未来創造基金 **担当者** 山田 健一郎

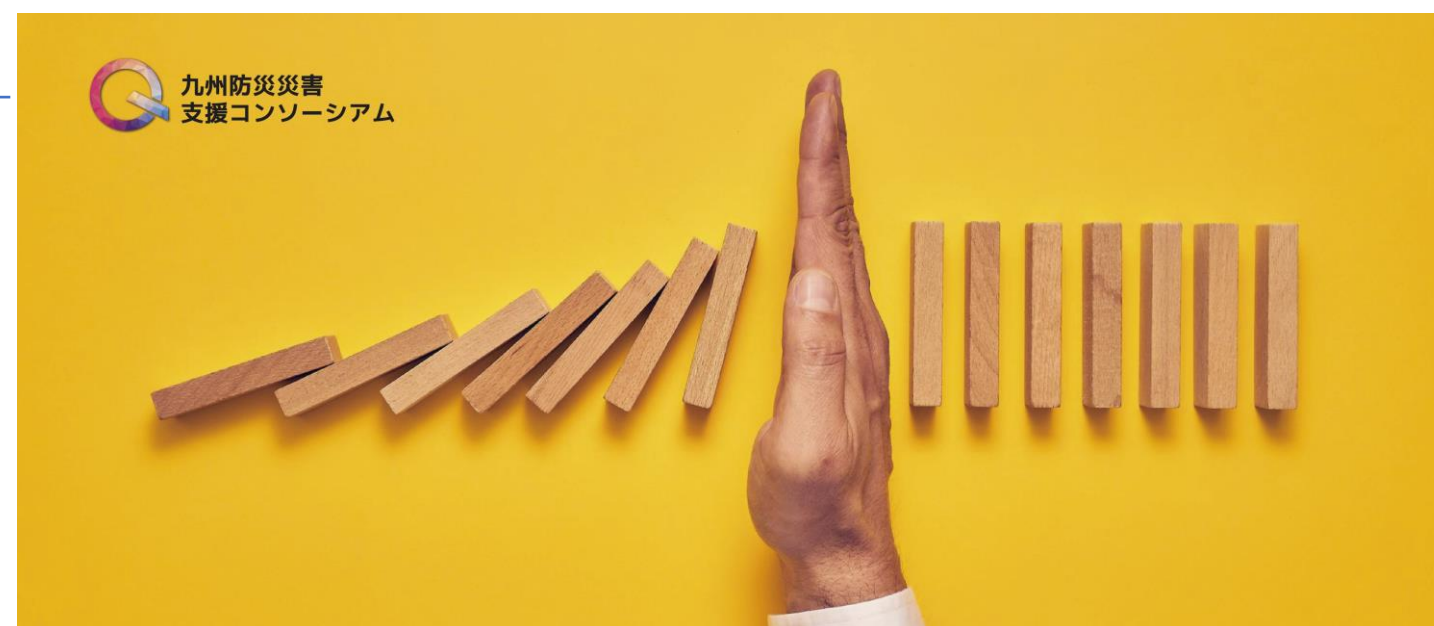
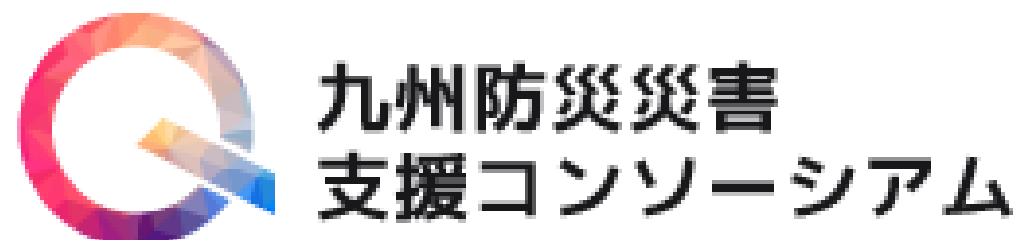
電話 070-8801-0260

MAIL info@qbss-c.com

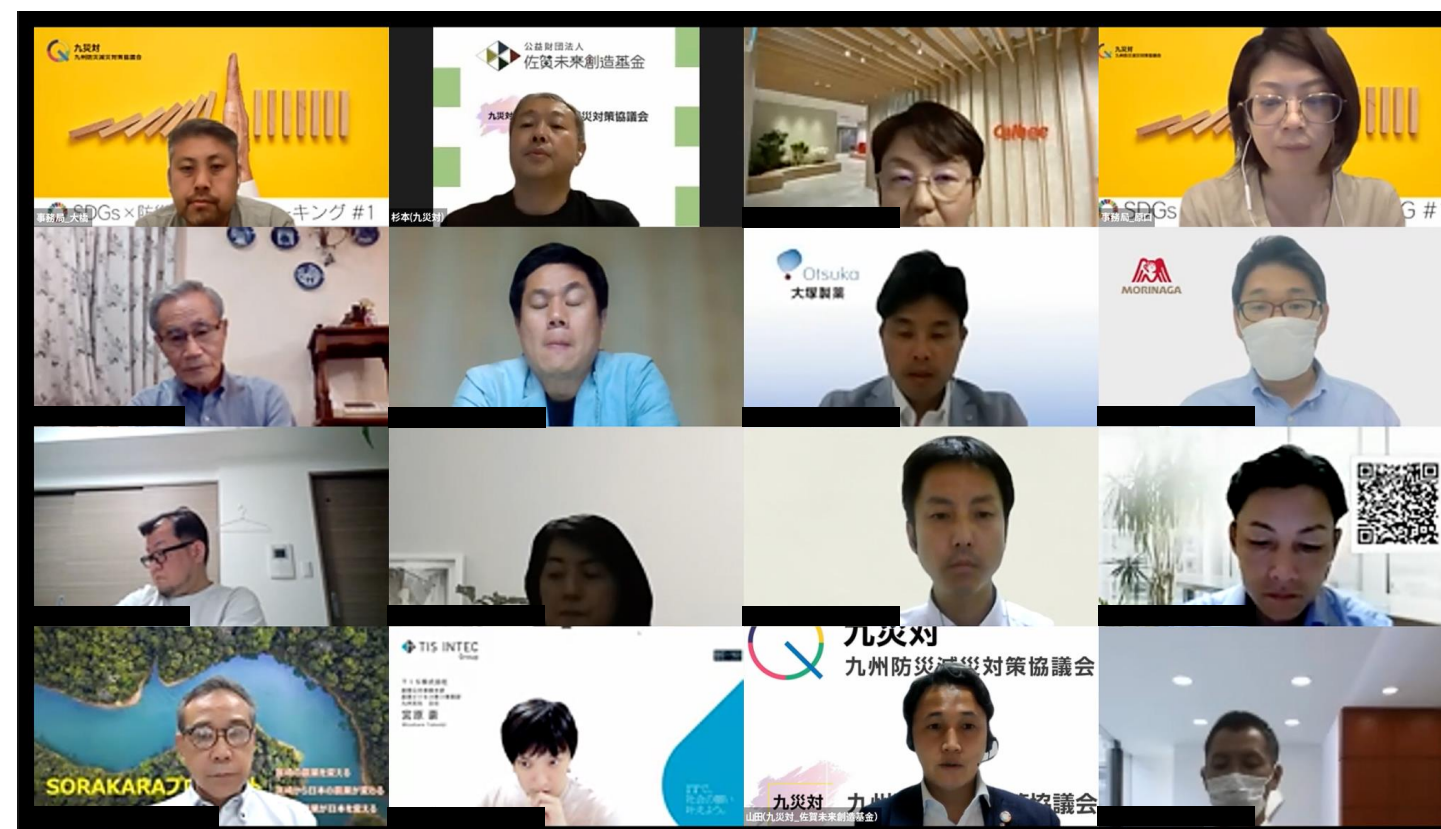
URL <https://qbss-c.com/>

所在地 840-0813 佐賀県佐賀市唐人2丁目5番25号

メンバー
 山田 健一郎 (公益財団法人佐賀未来創造基金)
 高木 敏行 (株式会社かんがえる防災)
 樋口 朋晃 (株式会社三好不動産)
 茨野 登 (森永製菓株式会社)



SDGs × 防災減災 ネットワーキング



SDGs×防災減災 ネットワーキングの様子 (Zoom)